

別紙

1. 「入門臨地講座」の概要

| | | |
|------|---|---|
| タイトル | 【第1回】仏像入門 東大寺のみほとけたち | 【第2回】謎の石造物を解き明かす |
| 開催日 | 4月20日(土) 雨天決行(荒天中止) | 5月25日(土) 雨天決行(荒天中止) |
| 講師 | 奈良大学教授 関根 俊一 氏 | 阪南大学教授 来村 多加史 氏 |
| 集合 | 東大寺総合文化センター前 10時 (東大寺ミュージアム前) | 奈良交通「石舞台」バス停留所前 12時05分 |
| 見学先 | 東大寺総合文化センター(講師講演)、南大門、 大仏殿、法華堂、俊乗堂、戒壇堂 (東大寺境内で17時頃解散予定) | 石舞台古墳、橘寺、明日香村中央公民館(講師 講演)、亀石、鬼の雪隠・鬼の俎、猿石 (近鉄飛鳥駅前で16時50分頃解散予定) |
| 交通 | 近鉄奈良駅、JR奈良駅よりバス | 近鉄飛鳥駅、橿原神宮前駅よりバス |
| 参加費 | 2,000円 | 2,000円 |
| 定員 | 100名 | 100名 |

| | | |
|------|--|---|
| タイトル | 【第3回】世界遺産・法隆寺にみる日本建築の はじまり | 【第4回】邪馬台国の故地を訪ねて |
| 開催日 | 10月26日(土) 雨天決行(荒天中止) | 12月1日(日) 雨天決行(荒天中止) |
| 講師 | 京都工芸繊維大学准教授 矢ヶ崎 善太郎 氏 | 奈良県立橿原考古学研究所共同研究員 森下 恵介 氏 |
| 集合 | 法隆寺iセンター前 10時 | 大神神社(大礼会館前) 10時 |
| 見学先 | 法隆寺iセンター(講師講演)、西院伽藍(金堂、 五重塔、中門、廻廊、大講堂)、東院伽藍(夢殿、 絵殿・舍利殿、伝法堂) (法隆寺境内で16時40分頃解散予定) | 大神神社(講師講演、参拝)、桜井市立埋蔵文 化財センター、茅原大墓古墳、ホケノ山古墳、 箸墓古墳、纏向遺跡 (JR巻向駅前で16時50分頃解散予定) |
| 交通 | 近鉄筒井駅、JR法隆寺駅よりバス | 近鉄・JR桜井駅よりバス JR三輪駅より徒歩 |
| 参加費 | 2,000円 | 2,000円 |
| 定員 | 80名 | 100名 |

2. 参加申込み方法

(1) お申し込み期間 各回とも2月21日(木)から開催日の前日まで

※定員に達し次第受付終了

(2) 参加費 各回2,000円(税込み)

※第1回～第4回まで一括でお申し込みの場合は、参加費6,000円。

※近畿文化会会員は、各回とも参加費1,700円。

(入会随時受付中、年会費2,200円、家族会員は1,200円)

(3) お申し込み方法

電話またはFAXで近畿文化会事務局まで。

電話 : 06-6775-3686

FAX : 06-6775-3669

申込受付時間 9時10分～18時(土・日・祝日は休み)

○電話でお申し込みの場合は、下記①～⑥を電話口でお伝えください。

FAXでお申し込みの場合は、FAX用紙に記載してください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤性別 ⑥連絡先(携帯電話番号など)

○参加費は、申込後10日以内に郵便局備付の払込取扱票を使用して、

郵便振替口座「00960-2-304143 近畿文化会」

へお振込みください(通信欄に参加される講座日を記載)。

(注意事項)

*参加費には拝観料、お供え等が含まれています。

*昼食は各自自由昼食(各自負担)です。(第2回は昼食を済ませて参加)

*参加は小学校5年生以上に限ります。また、中学生以下は保護者の同伴が必要です。

*お客様の都合で参加を取り消した場合、返金はできません。

参考

近畿文化会の概要

1. 沿革

昭和6年(1931)

古文化研究団体「大和國史會」設立

(この間、近畿日本鉄道の前身会社、大阪電気軌道や関西急行鉄道の援助・協力を受けて会誌の発行、講座・講演会の開催等を行う。)

昭和24年(1949)

「大和國史會」を母体に、近畿日本鉄道の文化事業を包含して、「文化財愛護の心を養い、歴史的知識を高める」ことを目的に、「近畿文化会」が発足
文化冊子「近畿文化通信」創刊(第1号、10月1日発行)

昭和31年(1956)

「近畿文化通信」を「近畿文化」に改名

平成28年(2016)7月

月刊文化冊子「近畿文化」発刊800号 記念講演会開催

2. 活動内容

- ・主に近鉄沿線の寺社や史跡などを紹介する月刊の文化冊子「近畿文化」の発行
- ・史跡、古社寺などの文化財を訪ねる「臨地講座」(講師の解説による現地説明会)を開催(原則毎月2回、最近の開催内容は別紙資料のとおり)
 - ※「臨地講座」については、従来は「近畿文化会」の会員を対象として開催してきましたが、「近畿文化会」の活動をより多くの皆さまに知っていただくため、4月以降は「入門臨地講座」以外の「臨地講座」についても、一部の講座を除いて会員以外の方でも参加可能(参加費は会員価格に1,000円を加算)とします。
- ・「歴史文化セミナー」の企画(毎月1回開催、主催は近鉄文化サロン阿倍野)
- ・奈良大和路の歴史・文化を紹介するために活動する「大和文化会」への講師派遣(東京にて年10回講演会開催、主催は近鉄グループホールディングス東京支社)
- ・その他講演会、特別講座、現地見学会等の開催

3. 会員数

約1,700名(大和文化会会員を含む)

4. 入会金

300円(「入門臨地講座」参加者は無料)

5. 年会費

普通会员 2,200円 家族会員 1,200円

※家族会員は普通会员と同居の高校生以上の方に限ります。

※年会費は入会日より1年間有効です。(随時入会できます)

家族会員の方の有効期限は、普通会员の方と同じになります。

6. 入会申し込み

近畿文化会事務局まで

電話：06-6775-3686 FAX：06-6775-3669

申込受付時間 9時10分～18時(土・日・祝日は休み)



月刊文化冊子「近畿文化」



臨地講座の様子

以上

2018年4月以降に実施した「臨地講座」

| 開催日 | 講師（敬称略） | 臨地講座名 |
|--------------|---|--|
| 2018年 4月 8日 | 柏原市立歴史資料館長 安村 俊史 | 旧大和川を歩く(二) |
| 15日 | 阪南大学教授 来村 多加史 | 伊勢参宮街道を訪ねて③ |
| 5月 13日 | 天理参考館特別顧問 松田 真一 | 伊勢の縄文遺跡と朱の生産 |
| 27日 | 柏原市立歴史資料館学芸員 石田 成年 | 開業120周年を迎えた南河内への鉄道 |
| 6月 10日 | 龍谷大学教授 神田 雅章 | 高取町・大淀町の仏像 |
| 24日 | 元興寺文化財研究所副所長 狭川 真一 | 元興寺創建1300年記念 国宝禅室「屋根裏探検」と奈良町の寺院 |
| 7月 7日 | 吉野歴史資料館館長 池田 淳 | 奥田の蓮取り行事と蓮華会 |
| 15日 | 大阪歴史博物館学芸員 大澤 研一 | 幕末・維新150年 鳥羽伏見の戦い |
| 8月 19日 | 京都華頂大学教授 川島 智生 | 名古屋の近代建築② |
| 31日 | 大阪府文化財センター主査 駒井 正明 | 京都の戦争遺跡③ |
| 9月 9日 | 皇學館大学名誉教授 岡田 登 | 倭姫命の伊勢巡幸③ |
| 23日 | 元興寺文化財研究所主任研究員 佐藤 垂聖 | 紀州の中世武士団湯浅氏と明恵上人を訪ねる |
| 10月 6日 | 春日大社権禰宣 中野 和正 | 春日大社御創建1250年 春日の神様の歩かれた道 —伊賀の国をめぐる— |
| 14日 | 奈良県立橿原考古学研究所共同研究員 森下 恵介 | 神武天皇伝承地と登美の古寺 |
| 11月 11日 | 大阪府立弥生文化博物館副館長 大阪府立弥生文化博物館学芸員 秋山 浩三 井上 知花 | 和泉における弥生・古墳時代の歴史的展開 —弥生博・池上曾根・観音寺山・和泉黄金塚— |
| 18日 | 京都工芸繊維大学准教授 矢ヶ崎 善太郎 | 興福寺中金堂と奈良町の古建築 |
| 12月 16日 | 奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員 泉森 皎 | 木津川左岸の古墳と古社寺 |
| 23日 | 阪南大学教授 来村 多加史 | 伊勢参宮街道を訪ねて④ |
| 2019年 1月 20日 | 龍谷大学教授 神田 雅章 | 伊勢神宮外宮参拝と松阪の仏像 |
| 27日 | 吉野歴史資料館長 池田 淳 | 大和の文楽の舞台を訪ねて —傾城恋飛脚・義経千本桜・壺坂観音霊験記— |
| 2月 10日 | 天理参考館特別顧問 松田 真一 | 吉野川・紀の川流域の古代遺跡 |
| 24日（予定） | 京都橘大学教授 一瀬 和夫 | 北河内の港近くの古墳をめぐる |
| 3月 10日（予定） | 皇學館大学名誉教授 岡田 登 | 倭姫命の伊勢巡幸④ |
| 31日（予定） | あべのハルカス美術館副館長 米屋 優 | 京都の阿弥陀仏 |